

2024 年度（対象年度：2023） 自己点検・評価シート

組 織 名	教職センター
責 任 者	只友 景士

基準 2	内部質保証
------	-------

■事前確認

前年度の自己点検・評価シートから、伸長・改善計画、評価結果の課題事項（【改善勧告】、【努力課題】、【留意点】）を転記していますので、確認してください。

認証評価結果において、大学基準協会から指摘された事項について確認してください。

<前年度の伸長・改善計画>

項目 No.	課題事項と伸長・改善方策（到達目標を含む）

<前年度の評価結果（課題事項）>

課題事項《箇条書き》 *各項に【改善勧告】【努力課題】又は【留意点】を記載。該当がない場合は「なし」と記載。
教職課程の学修成果である大学の定める資質・能力を備えた学生を育成できているかについて、エビデンスをもとに適切に説明することが必要であり、その仕組みを構築することが望まれる。【留意点】

<【参考】2020 年度 認証評価結果における指摘事項>

総評における助言 / 是正勧告 / 改善課題
なし

I. 自己点検・評価

1 自己点検・評価結果 < 評定 >

自己点検・評価基準を参照し、「自己評価」欄に「S」「A」「B」「C」の4段階で記入してください。

項目 No.	評価項目 <大学基準協会の「評価項目」に相当>	点検項目 <大学基準協会の「評価の視点」に相当>	自己評価
			現状
204	教育職員免許法施行規則第22条の6に定められた事項、自己点検・評価結果その他の諸活動の状況等を適切に公表、社会に対する説明責任を果たしているか。	①情報公表及び情報開示を、適切に行っているか。	A
		②公表する情報は、定期的に更新されているか。	A
		③大学が必要な資質・能力を備えた学生を育成できているかどうかを、エビデンスとともに説明できているか。	B

2 自己点検・評価

対象年度における組織の状況を自己点検・評価し、その内容を、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて「点検項目」毎に具体的に説明してください。

現状、「何を」規定又は実施していて、「いつ」「どの会議で（誰が）」「どのように（指標・方法）」検証・分析を行い、「どのように（基準）」自己評価していますか。
--

204① 教職センターWeb サイトにて、教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画とともに、教員養成の組織や教職課程担当教員、教員免許状の取得状況等の情報を開示している。[204 ア] [204 イ] [204 ウ] [204 エ]	
204② 教職センター会議にて、前年度の教員免許状取得者数や教員採用試験による名簿登載者数（合格者数）を報告する [204 オ] [204 カ] と同時に、教職センターWeb サイトを更新している。[204 エ] [204 キ]	
204③ 教職センターでは、教職課程の運営方針として、本学の教員養成の目標を踏まえ、「専門性・社会性・実践的指導力に富む良心的で優秀な教員」を育成するために積極的な指導や支援を行うこととしており、毎年度の教職センター会議で確認および振り返りをしている。同運営方針では、教職課程のカリキュラムの充実や教育実習に係る指導の充実などに取り組むことを確認している [204 ク] [204 ケ]。今後は、本学が定める資質・能力を備えた学生を育成できているかどうかを確認する手段として、教職センターが全国の教育委員会に対して毎年行っている「教員採用試験調査」において、当該について尋ねる項目の追加を検討する。	
長所・特色《箇条書き》*先駆性や独自性があるもの、有意な成果が見られるもの、他の組織の範となるもの、自己評価・現状「S」のもの	
項目 No.	
項目 No.	
課題事項《箇条書き》 *伸長すべき点、改善すべき点	
項目 No.	
項目 No.	

3 伸長・改善に向けた取り組み

前年度の自己点検・評価の評価結果（【改善勧告】、【努力課題】、【留意点】等）への対応も含め、伸長・改善に向けた取り組みについて、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて具体的に説明してください。

<伸長・改善の進捗状況>

対象年度における取り組み *成果の有無を問わない、前年度の自己点検・評価シート作成時点での計画の有無を問わない	
204③	大学の定める資質・能力を備えた学生を育成できているかについて、エビデンスをもとに適切に説明するための仕組みとして、教職センターが全国の教育委員会に対して毎年行っている「教員採用試験調査」において当該を尋ねる項目の追加を今後検討する。

<今年度の伸長・改善計画>

項目 No.	課題事項と伸長・改善方策（到達目標を含む）

4 根拠資料

項目 No.	根拠記号	根拠資料の名称
204	ア	教員教職センターウェブサイト「教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画に関すること」【ウェブ】
204	イ	教職センターウェブサイト「設立の趣旨（理念）・センターの機能・組織図」【ウェブ】
204	ウ	教職センターウェブサイト「教員紹介」【ウェブ】
204	エ	教職センターウェブサイト「教員免許状取得者数」【ウェブ】
204	オ	2023 年度第 1 回教職センター会議資料 教員免許取得者数
204	カ	2023 年度第 1 回教職センター会議資料 公立学校教員採用試験による龍谷大学生（卒業生含む）名簿登載者数の調査結果

204	キ	教職センターウェブサイト「教員採用実績」【ウェブ】
204	ク	2023年度第1回教職センター会議資料 2023年度教職課程の運営方針
204	ケ	2023年度第9回教職センター会議資料 「2023年度教職課程の運営方針」の振り返り.

II. 評価結果

総評
<p>204①② 教員養成の目標、当該目標を達成するための計画、教員養成の組織、担当教員、教員免許取得者数及び教員採用試験合格者数等の情報を Web サイトに公表している。教員免許取得者数及び教員採用試験合格者数は、毎年度、更新している。また自己点検・評価の評価結果は、2022年度から公表することとしている。</p> <p>204③ 教職センター会議は、毎年度、運営方針においてカリキュラムの充実や教育実習に係る指導の充実などに取り組むことを確認している。</p> <p>しかし、運営方針だけでは、教職課程の学修成果である大学の定める資質・能力を備えた学生を育成できているかについて、エビデンスをもとに十分な説明ができていない。</p> <p>今後は、全国の教育委員会に対して毎年行っている「教員採用試験調査」において、教員採用試験を受けた本学学生が、大学の定める資質・能力を備えていたかを尋ねる項目を追加すること等を期待する。</p> <p>以上より、自己点検・評価結果その他の諸活動の状況等を適切に公表していると評価できる。ただし、社会に対する説明責任を果たすという意味では、教職課程の学修成果である大学の定める資質・能力を備えた学生を育成できているかについて、エビデンスをもとに適切に説明することが必要であり、その仕組みを構築することが望まれる。</p>
長所・特色《箇条書き》
課題事項《箇条書き》 *各項に【改善勧告】【努力課題】又は【留意点】を記載
<p>大学の定める資質・能力を備えた学生を育成できているかについて、エビデンスをもとに適切に説明するための仕組みとして、教職センターが全国の教育委員会に対して毎年行っている「教員採用試験調査」において当該を尋ねる項目の追加を今後検討する、として、ここ2カ年は“今後検討する”としている。これは将来的に考慮することを意味することであるので、具体的に検討を進められることを求めるものとする。【留意点】</p>